

第 123 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 27 年 8 月 25 日（火） 9：30～12：03

場 所：浜田公民館第 2 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 横田次長（教育総務課長）佐々木課長 滝本室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 小田室長

大崎分室長（欠席）、栗栖分室長（欠席）、森下分室長（欠席）

吉野分室長（欠席）

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 教育委員会自己点検・評価について

(2) 教育委員会学校訪問について

3 部長・次長・課長等報告事項

4 その他

(1) 運動会の日程について

1 教育長報告

石本教育長

台風が午後から夕方にかけて浜田に一番近づくということである。実は、今日から今市小学校が始業式を予定していたが、台風の影響で臨時休校ということで明日始業式が行われる。ほかの学校も今週中にはほとんどの学校で始業式が行われる。以前に比べて始業式が早くなったが、授業日数の確保ということの中で少しずつ始まりが早くなっている。31日に原井小学校、雲雀丘小学校が始業式。それが最後ということで、9月に始まる学校はない。時代の流れかなと思う。

① 7月25日（土）島根県中学校総合体育大会・柔道大会

武道館で開催され、開会式に藤本委員と参加した。

② 7月28日（火）第36回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会出場者市長表敬

浜田市から全国大会に出る2名の出場者が市長を表敬された。長浜小学校5年生の井上さんは2年連続の出場。雲城小学校6年生の安達くんは初めての出場。全国大会では2名とも予

選リーグで2勝1敗であり、3勝すれば決勝トーナメントへ進むことが出来たが、残念ながら上がれなかったが健闘された。浜田市では囲碁の教室があり、県下の中ではレベルが高くなっている。

③ 7月28日（火）島根県都市教育長会

雲南市で、8市の教育長会が行われ参加した。

④ 7月31日（金）三隅町ことばを育てる親の会・要望

8月10日のところにも浜田ことばを育てる親の会ということで、2つの団体から要望があった。いわゆる通級の学級を利用されている児童の保護者の会である。今、通級学級は三隅地区が三隅小学校と三隅中学校に設置され、浜田では松原小学校と第一中学校にクラスが設置されている。先生方の研修の機会を十分に取って欲しい、その為の旅費を確保して欲しいということを親の会からも要望が出た。今年は県の大会が第一中学校で行われるので出席をしたいと思う。

⑤ 8月2日（日）～8月6日（木）第42回日独スポーツ少年団同時交流・対面式

ドイツのスポーツ少年団の方が浜田に来られ、浜田のスポーツ少年団と交流をされた。ドイツのスポーツ少年団は年齢が高く、16歳から22歳の方がスポーツ少年団に入って活動をされている。日本に来られるのは42回目だが、浜田に来られるのは4回目であり、年齢が小学生と高校生くらいの交流なのでドイツの方が浜田の子どもたちを可愛がるという図式にはなったが、仲良く一緒にホームステイをして5日間を過ごされた。2日の日には、来られた時の対面式をこちらのスポーツ少年団とドイツの少年団の受け入れ先の家族の方と行い、この日は部長に出席してもらった。5日の日には、さよならパーティーが行われ、私が出席をした。ドイツのスポーツ少年団は気さくで優しい方ばかりだった。ドイツの山の中の地域の方だったので、海が大変珍しく海浜公園でバナナボートに乗り遊んだが、すごく喜んでいて、次の予定をキャンセルしてもう一回乗りたいとのことであった。

⑥ 8月3日（月）ユネスコ無形文化遺産「和紙：日本の手漉和紙技術」調定書伝達式・記念シンポジウム

昨年11月三隅の石州半紙が再認定を受けた。今までは、三隅の石州半紙だけで単独の指定を受けていたが、今回は3つの

和紙、埼玉の細川紙、岐阜の本美濃紙、三隅の石州半紙の 3 つの和紙の認定書の伝達式、それに併せて三市で記念のシンポジウムが開催された。これについては、後程文化振興課長から報告がある。

- ⑦ 8月7日（金）第49回中国地区中学校体操競技選手権大会
7日は開会式のみで、8、9日で競技が開催された。島根県の選手、浜田の選手も頑張ったが、なかなか山陽方面のチームの選手の壁は厚かった。
- ⑧ 8月9日（日）第56回全日本吹奏楽コンクール島根県大会
部門に分かれて何週かに分かれて行われている。この日は第一中学校の演奏しかなかったが行かせてもらった。50人編成だが、吹奏楽部の部員が減少しており50人の内15人の1年生が入っての演奏だった。まだ吹けないことが普通な1年生が入って先生も厳しいと言っておられたが、今回、第一中学校も第三中学校も銀賞であったということであった。小編成の部では、金賞等を受賞されたとのことであった。
- ⑨ 8月10日（月）浜田市社会教育委員の会・答申
昨年4月に家庭学習のあり方と今年度策定する浜田市教育振興計画の中における社会教育の位置付け、方向性を諮問した。その関係で、答申をいただいた。今日は間に合っていないと思うが、別の機会に報告をして教育振興計画の策定につなげていきたいと思っている。
- ⑩ 8月11日（火）全国中学校体育大会出場者・市長表敬
3名の出場者、柔道が2名、陸上が1名ということで市長表敬をされた。
- ⑪ 8月11日（火）第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会出場者・市長表敬
松原小の4年生が市長表敬をされた。
- ⑫ 8月11日（火）第31回全国小学生陸上競技交流大会出場者・市長表敬
これは後程説明があると思うが、6名出場し、1名は全国優勝、もう1名は全国6位入賞ということで、今年も大変立派な成績をおさめられた。新聞にも大きく取り上げられた。日頃の練習の成果が出ているということで、指導者の方も大変喜んでおられ、子どもたちも喜んでいたということである。
- ⑬ 8月17日（月）浜田教育事務所管内教育懇話会

教育委員の皆様に出席していただき、大田市で開催された。大きなテーマとしてはふるさと教育という内容の意見交換をしていただいた。人口がどんどん減っていく中で、人口減少対策も大きな柱の一つと言われており、県も10年位前から全国に先駆けて行っているが、引き続いて国の力を借りたいとの話であった。

⑭ 8月18日（火）平成27年度ふれあいフォーラム

人権教育との関わりは少なかったが、スクールバスの前輪、後輪の役割の話が出てきた。梅津元委員長が以前言っておられ、同じ様に教育を表現されているのだと感じた。

⑮ 8月22日（土）夏季書道講習会

県と市の習字教育連盟が開催される講習会、藤本委員と一緒に出席をしてきた。浜田高校書道部と第二中学校の習字をやっている陸上部の生徒がパフォーマンスということで、大きな紙に筆を使って思い切り書を描くということがあり、興味深かった。その後は教室に分かれて、書道の学習をしていた。

⑯ 8月23日（日）第12回教育長杯子ども囲碁大会

32名の子どもたちが参加した。先程お話した全国大会に出場した長浜小学校の井上さんが優勝した。全国大会に出たもう一人の安達くんは3位だった。2位は江津の児童。この大会は32名の出場だが松江からも2名の参加があった。他には、大田、江津、浜田、益田の囲碁に自信のある児童が参加した。私は囲碁についての知識があまりないが、レベルの高い大会だと感じた。安達くんは、東京へ行く前に、囲碁の道場がどこにあるか調べ、空き時間には道場に訪れて大人の人と囲碁を打っていたということであった。強くなるだろうなと思った。

⑰ 8月23日（日）こども美術館まつり2015

来場者がどれくらい来られたかを調べるのは難しいとのことだが、約2,000人の方が来場したということである。

質疑応答

金本委員
佐々木課長
金本委員
佐々木課長
山本部長

8月4日の要保護児童対策協議会について、対象はどの位か。
100人まではないかと思う。
要保護というのはどういうことか。
虐待等の関係である。色々な支援の必要な家庭の事を言う。
児相や警察等の関係機関が出席。

金本委員 石本教育長	経済的な事ではないのか。 そうではない。トップの方が出てこられる。 また報告をお願いします。
各委員	県総体の柔道だが、男女 16 階級あるが、その内浜田の生徒たちは 8 階級で決勝に残った。これはすごい事である。半分が浜田の生徒であった。 その他、質問等あるか。 特になし。

2 議題

(1) 教育委員会自己点検・評価について (資料 1)

石本教育長	事前に配布をさせていただいて了承をいただくということで、事務局よりお願いをしていると思うが、これについて 9 月議会総務文教委員会に提出をして、なおかつ 9 月議会の最終日の全員協議会で全議員に配布をすることになっている。これについて、内容を各委員に審議いただきたい。 進め方はどうするか。
小林係長	事前に配布させていただいているので、内容の説明は省略させていただき、1 事業毎にご意見、質問があれば事務局が回答をするという形にさせていただければと思うがどうか。
石本教育長 小林係長 石本教育長 各委員	1 事業毎にということだが、全部で 52 事業か。 今回は 3 事業廃止にしているので、49 事業になる。 そういった進め方でよろしいか。 了解。
石本教育長	本日、最終的な修正をしなくても、持ち帰って修正点が出た時に報告をいただければ直す時間はあるか。
小林係長	直す時間はあるが、来週の月曜日の庁議に提出をするということであれば一応の締め切りがあり、そこに提出をするかしないかで時間が変わってくる。
石本教育長	調整中ということで庁議には提出をして、ぎりぎりまで調整を行うことでどうか。
小林係長 石本教育長 宇津委員	分かりました。 NO.1 「自然体験学習」 26 年度の実績の主な内容の 2 行目の所に、神楽づくり製作とあるが、神楽づくりとは何か、面づくりのことかと感じたが。
佐々木課長	竹を組んで輪や鬼の棒を作るということである。

金本委員 佐々木課長 石本教育長	神楽道具ではないか。 道具である。 神楽道具作りに修正をする。専門的な名称があるかもしれないので調べてもらいたい。
佐々木課長 石本教育長 各委員 石本教育長	分かりました。 他に質問はないか。 特になし。
小林係長 石本教育長 各委員 石本教育長	NO.2 「公立幼稚園の集約化」 これについては、後程話をするのか。 時間の状況に応じてとなる。 これについてはよろしいか。 特になし。
佐々木課長 石本教育長 佐々木課長	NO.3 「赤ちゃん登校日事業」 これは評価の所で 26 年度では実施がなかったという評価だが、今後もある予定がない等の今後の見通しも記入出来るか。 そこは入れられる。26 年度に次年度予算要求を挙げていないので。 先生方も多忙になり、対応が難しいのではないか。 難しいかもしれないが、ヒューマンコミュニケーションは出来る。
石本教育長	26 年度の実施がなかったということで、今後の見通しを記入してほしい。講師の先生が鳥取大学を辞められて、他の大学に行かれたということで、その関係で忙しくなったということを知ったが。
佐々木課長 石本教育長 佐々木課長 石本教育長 各委員 石本教育長	鳥取大学に籍は残しておられる。 非常勤で来られるのか。 はい。 他に質問はないか。 特になし。
各委員 石本教育長 宇津委員	NO.4 「ふるまい向上プロジェクト」 この事業は、県から依頼のあった事業ではあるが、あまり見えてこない部分はあるが、地道に少しずつ行っていることは事実なので。よろしいか。 特になし。 NO.5 「小中一貫教育推進事業」 清水先生の講演の話で、意欲を高めることも重要だが、学習

石本教育長	<p>習慣をきちんとつけることが重要である。何かを付け加えることが出来ればそういった文言が入るべきだと思う。</p> <p>それは家庭学習のことか、それとも家庭学習に限らずということか。</p>
宇津委員 石本教育長	<p>家庭、学校に限らず。</p> <p>その辺の事を付け加えてほしい。</p> <p>他に質問はあるか。</p>
各委員 石本教育長 藤本委員	<p>特になし。</p> <p>NO.6 「ICT 教育の推進」</p> <p>以前、ある議員がタブレットを使った教育が効果があるからということ言われていたが、何かの機会があればその効果を検証された方が良くと思う。</p>
石本教育長	<p>導入はなかなか難しいが、そういった事を勉強していく姿勢は大切だと思う。文言に入れた方が良いか。</p>
藤本委員 佐々木課長	<p>書き込みまではしない方が良くと思う。</p> <p>部分的には入っている所もあるが、全部となると先生方も大変である。</p>
藤本委員 宇津委員	<p>やるとなると色々な課題がある。</p> <p>今の先生方は、機材を使いこなすという面では苦勞が多いのではないかと思う。先生方が機材を使いこなせる力量をアップさせる為にも今後の方向として研修等も必要ではないか。</p>
石本教育長	<p>基本的には ICT 教育の機材を整えると、どの様に活用をするかということが主になるが、情報モラル教育の部分で、そういった機器を活用してどういった勉強を出来るのかということ、機器は色々なものがあるが、先生方の研修に重きを置くような全体の構成にならないかなと感じたので、検討をしてもらいたい。</p>
小林係長	<p>26 年度の目標ということで、電子黒板の活用状況を調査し、授業効果の検証を行うとあるが、これは毎年度目標に入っているが実績にその検証がないが、行っていないのであれば削る。今さら目標を削るのもおかしいが。</p>
石本教育長	<p>今更目標を削るというのはおかしいが。正直に調査をしなかったという事にするか。調査をしなかったわけではないのか。</p>
佐々木課長 滝本室長	<p>全部は把握していないが。</p> <p>一応、指定校ということで 2 校ほど、学校にそういう機材の環境整備を 12 月までに行い、その後、来年度以降色々な事業</p>

石本教育長
小林係長

に取り組むこととなっている。

それは今年度の事ではないか。26年度の事として書けない。
活用と検証が主眼になるという視点からいくと、ここは大事な部分と思われるので、評価の部分に27年度以降は活用法を予定しているという形で書き込みをした方が良いと思った。

石本教育長

その辺は再考をお願いしたい。

最初に宇津委員が言われた研修等は書き込みをしてほしい。
他に質問はあるか。

各委員

特になし。

石本教育長

NO.7 「学校支援員の充実」

実績の部分の表記が薄い気がする。実績の部分がただの人数だけの表記だけではなく、評価が重なるかもしれないが、どういった効果があったかも実績の記述に加えた方が良いのではないか。去年まではこうだったのかもしれないが、人数だけを挙げるのではなく、具体的に記載を。その辺を検討してほしい。

他に質問はあるか。

各委員

特になし。

石本教育長

NO.8 「学力調査の分析」

各委員

特になし。

石本教育長

NO.9 「授業研究の推進」

藤本委員

書き込みの必要はないが、3名の先生が派遣された後の報告はあるのか。

滝本室長

市内の教諭に呼びかけ、必ず一度公開授業を行ってもらい、授業研究の後、視察の報告会を行う。

藤本委員

分かった。

石本教育長

それはその下に書いてあるコアティーチャーによる公開授業及び福井市視察報告会という事が上とつながっている。

その他、質問はあるか。

各委員

特になし。

石本教育長

NO.10 「学校事務の共同実施」

学校事務の共同実施については、教育委員にまでテーマとして挙げてきたことがないので分かりづらいところがあると思うが。

藤本委員

こういった事を行っておられるのは知っているが。

宇津委員

教職員で共有するというのは、言葉で言っても難しい面がある。教諭の側からすると、それも感じなければならない。これ

	<p>だけやっているのだから、これだけの時間が見いだせている、子どもたちと向かい合う時間が確保できるという事を分かっ てもらわなければならない。共同作業なので、事務職員は事務 職の立場で全力を尽くしてもらい、浮いた時間を教職員が子ど もと向き合う時間を確保し、その部分が実感として掴みとれな いと、事務職は報われないと思う。</p>
石本教育長	<p>それぞれどういった取組をされたかを年に 1 回発表会をさ れる。その時に、教育委員の皆様以案内をして活動の中身、取 り組みの様子を知ってもらうという事をしなければならない。 1 月か 2 月頃の予定だったと思うが。</p>
佐々木課長 石本教育長	<p>そうである。 今年度は案内をさせていただく。ご都合がつけばぜひ。 そういった方向で願います。記述の内容についてはよろし いか。</p>
各委員	<p>質問なし。</p>
石本教育長	<p>NO. 11 「学校図書館の充実と読書週間の定着」</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 12 「キャリア教育」</p>
藤本委員	<p>実績の部分の「なぜ、わたしたちは働くのだろうか」というテ ーマが、金城中、一中とあるが、このテーマは色々なところで 使われているのか。</p>
滝本室長	<p>そうである。中学生の進路という副読本があり、その中に一 つの題材としてある。</p>
藤本委員	<p>私は小中学生ならば、「なぜ、わたしたちは勉強をするのだ らう」というテーマの方が良いのではないかと思った。働く という事の前段には、なぜ勉強をしなければならないのかとい うことの方が大切なのかもしいと考えた。</p>
石本教育長	<p>そのテーマは、小学生の段階ではないかと思う。</p>
滝本室長	<p>市長も小学生になぜ勉強をするのかという話をされたが、中 学生は受験が目前にあるので、なぜ勉強をするのかというこ とは小学校の段階が良いのではないかという事であった。</p>
石本教育長	<p>他に質問はあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 13 「学校における人権意識高揚事業」</p>
宇津委員	<p>評価の所で、自分を大切にしている心、他者も大切にしている 心ということが全体的に出ている。この事業を通して育ってき ている</p>

石本教育長
宇津委員

ということを付け加えていただきたい。

自分を大切にできる心と他者を大切にできる心。
そういった心が育っていくという事は、いじめ問題等につながっていく大切な事である。

石本教育長
花田委員

指摘をいただいたので、追加をしてもらいたい。
人権の講座に来られる講師がまとめて書かれているが、この方を各校に順番に回ってもらおうということがあらかじめ決まっているのか。それとも学校が独自に要望を言えるようになっているのか。

小田室長

講師は学校の方から毎年決まった先生を呼ばれる所もあれば、三浦成人氏を決まって呼ばれる学校もある。西畑氏は、今年金城は初めてだったと思うが、学校の要望によって講師を呼ばれる所もある。継続して呼ばれる学校もあれば、新たな勉強の分類を求めてされる所もある。

石本教育長

学校から要望があり、人権同和教育室にて講師の方と交渉しているのか。

小田室長

交渉も学校でされている。講師料は人権同和教育室で支払っている。固定化されている学校もあるが、年によっては変わる学校もある。

石本教育長
各委員

他に質問はあるか。
特になし。

石本教育長

NO. 14 「特別支援教育推進事業」

佐々木課長

相談支援チームについて、訪問回数ほどのくらいか。
相談支援チームは保育園等へ巡回相談に行くが、その後気になる箇所にもう1回フォローに行く。それ以上はなかった。個別相談を希望されれば相談支援チームの中の何人かが対応するという形である。

石本教育長

相談支援チームもたくさんの所に行かれるが、回数を書けば相当な数になるのではないかと思う。何百回まではいかないか。

佐々木課長
石本教育長

2、3人で回られるので。
100回は超えるか。その辺から書いてあれば、すごいなど。印象の問題だが。数えられるのであれば、支援チームの活動が延べ何回かという記載があれば分かりやすいと思う。

各委員

他に質問はあるか。
特になし。

石本教育長 金本委員 佐々木課長	NO.15 「相談支援体制の充実」 実績の山びこ学級の実数とは何か。 実際に山びこ学級に来ている小学生の数である。年度の最初に登録をしている児童の人数である。
石本教育長 佐々木課長	中学校の 901 人というのはどういうことか。 13 人の登録があり、学級に来られた生徒の数が延べ 901 人だったという事である。
石本教育長 佐々木課長	年間を通じてということか。 そうである。
石本教育長 佐々木課長 石本教育長 佐々木課長	13 人で割ると、1 人の人が 70 日位来たという事か。 登録をしても、山びこ学級に実際は来ない生徒もあるので。1 人 1 人によって出欠状況が異なる。
石本教育長 佐々木課長	小学校の場合、3 名の場合 44 人となると、実際には 1 人が 11 回しか利用していないということか。 平均したらそういうことになる。実数は 3 人だが、実際は分からないが、1 学期から不登校で登録をしている場合と、途中からという場合もあるので。実数は 3 人ではあるが、開始の時点も違う。
石本教育長 佐々木課長	単純に計算すると中学生は結構行っているが、小学生の 3 人はあまり行けていないという事になる。 そうである。心のかけ橋支援事業等、色々なパターンで利用してもらっている。青少年サポートセンターもあるかもしれない。
石本教育長 佐々木課長 石本教育長	心のかけ橋支援事業は月に 1 回位あるのか。 月に 2 回だったと思う。 スクールソーシャルワーカーは 2 人で 470 時間やっておられ、スクールカウンセラーは 10 人位おられるのか。
佐々木課長	カウンセラーは 10 人もいない。1 人のカウンセラーが何校もやっておられ、学校を割り振りされている。
石本教育長 各委員 石本教育長	他に質問はあるか。 特になし。
滝本室長	NO.16 「小規模校等学校間交流事業」 これは自治区を越えての交流はないか。 中学校区内の小学校同士で中一ギャップ等の解消も大きなねらいとしてやっておられるのでは。
石本教育長	人数が少ないと出来ないことを大人数でやろうということ

佐々木課長 石本教育長 佐々木課長 宇津委員	<p>ではなく、中一ギャップに繋げるという事がねらいか。 特別支援学級はある。 年に2回位あったか。 そうである。スキー等。 統合に関わって該当する子どもたちの交流については、とても効果があると思う。同じ学校へ行き始めてからのギャップは薄れて入って行けたのではないかと思う。</p>
花田委員	<p>子どもたちはそのおかげでスムーズに入れていると思うが、保護者同士を繋げる事がこの事業では出来ないのか。</p>
石本教育長	<p>この項では関係ないが、学校統合の所でそういう声があれば良いが。PTA 同士で事前に役員で話をされる機会があると思うが。</p>
花田委員	<p>私は親学を入れたかったが、今年度から保護者ではなくなったので出来なくなった。</p>
石本教育長	<p>入念というか、学期に何回も交流学习をやってこられていた。家庭教育は生涯学習の関係もある。</p>
金本委員 石本教育長	<p>連合 PTA などの役員になっている方はあるが。 最初に合同で PTA の大きなイベントをされれば良いかもしれない。</p>
花田委員 宇津委員	<p>懇親会を予定していたが、忙しくて出来なかった。 保護者のわだかまりが残って続くと、増幅されて更に悪化される傾向がある。引いては子どもたちにも影響がある。懇親会等で一緒になるという試みもあっても良いかもしれない。</p>
石本教育長	<p>合併があるときは、そういった所も教育委員会が働きかけをするべきかもしれない。</p>
花田委員	<p>浜田市の PTA の単位で意識を持ってやっているのは事実だが、この項に入れるのは難しい。</p>
石本教育長 各委員 石本教育長	<p>そうである。他に質問はあるか。 特になし。</p>
	<p>NO. 17 「食育推進事業」</p>
横田次長 石本教育長 金本委員	<p>評価の所に 16 ポイント伸びるとあるが、具体的に何%かと記述が出来ないか。16 ポイントで県の平均になったのか。 実績に 58.2%になったとの記述をしている。 分かった。 献立の事ばかり書いてあるが、食育の部分で子どもたちの食習慣やマナーや栄養等があっても良いのではないか。</p>

石本教育長	栄養については、栄養教諭が学校で指導をされる。栄養教諭は6人おられ、それぞれ学校へ出向いて指導をされているので、その辺りの実績を聞いてみて記述した方が良いという事か。
金本委員	そうである。訪問指導の数など。
石本教育長	年間の予定表が春先に配布され、各小学校に何回行くという事が出ているので、実績が出ているはず。栄養教諭に聞けば全体の方が出る。その辺りの記述を付け加えてほしい。
藤本委員	食育とは、ご馳走を食べることが食育ではないと私は思う。基本は、早寝早起き朝ごはんという標語があるように、朝ごはんを食べているかどうかということが大きな課題であると思う。朝ごはんを食べていない子が多い。そういった部分、朝ごはんを食べるように習慣づけるような働きかけが食育だと思う。金本委員が言われたように、献立の事を入れても関心はないような気がする。私の思う食育の定義は、そういう事である。
花田委員	朝ごはんは調べてもらっているので摂取率、目標でそこに載せるべき。給食だけの事だけではなく。
石本教育長	学校で食育を勧める時に、朝ごはんの事も当然指導をしていると思うので、そういった事も含めて聞いて、記述をお願いする。
山本部長	総合振興計画に記載がある。
石本教育長	早寝早起き朝ごはんは、国民運動であると思う。文部科学省が提唱した。
滝本室長	浜田市の朝ごはんの摂取率は全国に比べると上である。家計的に非常に厳しい家庭が朝ごはんを食べて来ないという傾向が強い。
石本教育長	確かに起きてすぐ朝ごはんを食べるという事はぎりぎりまで寝ている子は大変かもしれないが。
藤本委員	そこまでいかず、準備をしていない。それは親の責任であると思う。
石本教育長	山びこ学級では朝ごはんを準備している。食べていない子どもたちに提供している。
佐々木課長	山びこ学級だけではなく必要な学校へ送っている。朝ごはんを食べていない子はそれを食べている。
石本教育長	それでは、そのあたりの記述をお願いする。 他に質問はあるか。

各委員 石本教育長	特になし。 NO. 18 「浜田子ども安全センター事業」 表彰があると思うが。 挙げるとすればここである。26年度、表彰はなかった。 表彰は2つあった。 失礼しました。それは実績の所に入れた方が良いか。 2団体の表彰を入れてほしい。 他に質問はあるか。
佐々木課長 石本教育長 佐々木課長 石本教育長	特になし。 NO. 19 「要保護・準要保護児童生徒扶助」 実績の所の不認定者とあるがどういった形の事を言うのか。 申請があったが認定されなかったという事か。 そうである。条件に合致しなかったという事である。 収入が基準より上回る等、ほとんど収入要件である。 分かりました。 労働関係団体というものは、例えばどういうものか。追加項目の要望があり、要望内容がこちらに書いてあるが、そこまで求められるのかとを感じるが。
各委員 石本教育長 藤本委員	認定する基準の中に、その世帯の生活保護基準というものがある。その1.3倍までの収入であれば認定するという項目や、ここにある項目に対して給付をするという事があるが、やはり労働団体が来られた時に、全国でも行っているので浜田でもこういう事をされてはどうかという事を要望される。
佐々木課長	前例がある。他の市町村では。 ただし、給付項目の中のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費については、県内について、行っている所は1、2カ所である。これについては自己負担であると考える。
石本教育長 佐々木課長	この要望がなされた事を実績に入れ込む意図は何か。要望を受けて何かをされれば実績だが、要望を受けただけでは実績ではないと思うが。
佐々木課長 小林係長	過去に体育用具を対象とした。 これを受けてという事か。 柔道着等か。 これを受けたという事もあって。 この部分については私が入れ込んでほしいと頼んだ。 評価、今後の取組として教育の貧困問題等もあり、発展をさ
佐々木課長 小林係長 石本教育長 佐々木課長 石本教育長 小林係長	

<p>石本教育長 小林係長</p>	<p>せる意図があつてであれば、下の部分の書き込みが必要かと思うが。</p> <p>下で検討するとある。繋がってはいるとは思ふが。</p> <p>評価の中でも要望等がありと下の方に入れても良いのではないか。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>上の2行を下の評価に入れるということか。確かに要望は実績ではおかしいと思う。毎年、この要望は受けているが実現していない。</p> <p>確かに、実績の所に要望があるというのはおかしいので、下の部分の要望のあった項目の部分に加えていくという事によるしいか。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>その間に、子どもの貧困率が非常に問題になっている世の中になっている。子どもの学力、心の成長の問題が大きく子どもの貧困率が関わってくるという認識を持つからという事を、どこかに入れ込んでもらえると教育委員会のスタンスとしてそういう見方をしているということが分かるのではないかと思う。心の成長に大きく関わる課題であるという捉え方をしていたら、次が出てくるのではないか。</p>
<p>石本教育長 佐々木課長 石本教育長</p>	<p>今の内容は理解できたか。</p> <p>分かりました。</p> <p>では、指摘があつた部分については直してほしい。確かに、子どもの貧困については大きな問題になっている。</p> <p>他に質問はあるか。</p>
<p>各委員 石本教育長 小林係長</p>	<p>特になし。</p> <p>NO. 20「学校統合計画の推進」</p> <p>補足で説明だが、統合計画自体が27年度で計画が終わるという事で、次期計画について踏み込んだ書き方をしているが、これは前回、前々回に教育長、部長が議会の中で次期統合計画について答弁をされて言及をされているので、必要と思ひ記載をしている。この事について、委員の皆様の考えや、統合計画を今後どうしていくかということ、今後、本格的に議論は進んでいくが、この部分をさわりとして入れておいても良いかという事を意見をいただきたい。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>議会の中では、確かに今の計画が終了するので、次の計画については今年度検討をして、28年度に審議会の中で検討をしていただくように話している。なんらかの必要性を判断してと</p>

	<p>いう内容は入れなければならないと思う。次期計画を立てなければならないということまではしないが、その辺りを検討していくという書き方で抑えている。</p> <p>実際、小学校で言うと、波佐小学校の人数が少なくなっている。中学校は、弥栄中学校が 20 人を切る、四中も 30 人超。中学校については部活の問題もあり、全体的に気になるところがある。そういった部分については十分検討したい。</p> <p>審議会に諮る前に、教育委員会のある程度の方向性を検討して、審議会に諮るということにする。これは今年度中の話になる。</p>
花田委員	<p>上府小学校は少人数学級の解消を図るということではなく校舎の老朽化だったが。</p>
小林係長	<p>確かに、上府小学校についてはそれが理由に入っている。施設の集約化、施設の耐震がなされない学校という事で。</p>
花田委員	<p>何も言われなくてもいいかもしれないが、あるかもしれないのでどこかに入れておいてほしい。</p>
小林係長	<p>分かりました。</p>
石本教育長	<p>上府小学校の場合は目的が確かに違う。</p> <p>他に質問はあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 21 「統合小学校建設事業」</p> <p>これはもうすでに終わったということか。</p>
小林係長	<p>まだ、終了していない。国府小学校、旭小学校がある。</p>
石本教育長	<p>あくまで、ハード部分についてのみか。</p>
小林係長	<p>この事業についてはそうである。</p>
石本教育長	<p>何か質問はあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 22 「学校の耐震化の推進」</p> <p>本体の耐震化はほとんど終わったという事で、現在は弥栄小学校の体育館の工事を今年度から行っている。あとは、体育館の天井の非構造部材の耐震改修を計画的に行っていく必要があるという事である。これは 6 校か。</p>
小林係長	<p>そうである。</p>
石本教育長	<p>他に質問はあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 23 「学校給食施設の統合」</p>

これは議会の中でも言われている。

学校給食施設の統合について確認をしてみたいのだが、基本的には教育委員会の委員の皆様の意見は、それぞれの各地区に給食センターを残す、三隅についてはセンターがないので、センターを造れば良いがなかなか難しいので、現行のままで当面行うという中で、正規職員を配置していたが嘱託化している。本当はセンターを残したいという事が教育委員会の思いであったが、市の行革なり市の方針としてそれを一本化にするという方向であるならば仕方がないという話をしてしたが、そういった整理で良かったか。教育委員会としての一本化、2センター化という思いではなかったか。

藤本委員

教育委員会とすれば、最初はそれぞれ皆新しいので残してほしいというのが基本的なスタンスではあったが、行革の中で財政改革推進に協力してほしいという話も出てきて、その方向性となれば2カ所に集約するという話が出てきたので、方向性としてやむを得ないと思う。市木小学校が当時あったので、給食を2時間以内に配食をしなければならないという暗黙の決まり事があり、それならば当然1カ所では無理という事で、何か事故や事件があったときにはすべてが止まるので1カ所というのは難しいため、2カ所という方向に傾いていた。だが、それは行政サイドの話であり、地域住民には説明が不十分であり実現出来ず、今日まで来ている。地域住民サイドには説明はされていたが理解はされていなかった。今ここにその問題が再び出てきて、27年度中に方針決定をしなければならないという命題もあるので、ある意味突っ込んだ議論をしなければならないかなと私は読んで考えていた。

石本教育長

教育委員会の中で決められるところは過ぎているというか、トップの市長の判断で決まるところまで話は進んでいると思う。

藤本委員

以前、元旭自治区長の花本自治区長より政策企画会議で議論をされたことだと聞き、理解してほしいとの話であった。地域住民に対してどこまで話がいつているのか。それは各自治区長の持ち分によって地域に話をすると聞いていた。自治区長がそれぞれの地域で話をされた様だが、地域によっては受け止め方が違い強い反発が出てきた地域もあり、行き詰まり今日まで来てしまった。

石本教育長	総合教育会議の中でも、この件をテーマに挙げて市長と話をしてみたいと思うので、事務局の方お願いしたい。私たちが考えている方向で市長も思いを持っておられるので。今までとは違った流れが来るかもしれない。
	これについて、他に質問はあるか。
藤本委員	これは27年度中に方針決定をしなければならないのか。
石本教育長	これはしなければならない。
藤本委員	分かった。
石本教育長	他に質問はあるか。
各委員	特になし
石本教育長	NO.24「通学合宿」
	質問はあるか。
各委員	特になし。
石本教育長	NO.25「浜田市PTA連合会連携事業」
藤本委員	26年度の実績で、(2)の所に意見交換会が2回となっているが、何かの資料で4回となっていたが。整合性は良いか。
石本教育長	目標が4回である。
小林係長	いえ、実績も4回となっている。
藤本委員	この資料の一番最後の2枚目の所にPTA活動との連携強化の部分で、24年度からは全部4回となっているが。
石本教育長	これは総会や研修大会も回数に入れてある。
藤本委員	そうすれば4回になる。
宇津委員	大事な事は、意見交換会をした情報が単Pに伝わっているかどうか。単Pの活動が活性化する様に持っていかなければ、繋がっていかなければ今後期待が出来ない。
石本教育長	では、評価の所に行行政との意見交換会の成果として単Pに繋げていくという事を付け加えるか。
長見所長	実際には、PTA連合会までとしか関わりがない。そこからは学校にお願いするしかないのでは。
山本部長	機関紙を出している。この意見交換会があり、こういった話があったという事はPTAに教育委員会と協議して、こういう事を話したという事は伝わっていると思うが。
石本教育長	五海山というPTA便りに載ってはいるが。
長見所長	その中には載っているが、こちらに依頼された原稿しかわからない。
石本教育長	こちらがあればこれするのではなく、そういった事が連合会の

金本委員 石本教育長	<p>中で単Pへの連携を期待するところまでである。</p> <p>いつも連合会大会の出席者が少ない。</p> <p>確かに年々減っている。その辺りは連合会のPTAの役員の方もキープをされておられる。</p> <p>宇津委員の言われた事は入れ込んでほしい。</p>
石本教育長 各委員 石本教育長 金本委員 石本教育長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>特になし。</p> <p>NO. 26 「ふるさと教育推進事業」</p> <p>ふるさと教育の教は郷ではないか。</p> <p>評価の所にあるのは浜田市の方針だから郷で良いが、事業名については大きなところで、これで良いと思うが。確かに2通りあり説明がややこしいかもしれないが。</p>
石本教育長 各委員 石本教育長	<p>NO. 27 「子どもの居場所づくりの推進」</p> <p>質問はあるか。</p> <p>特になし。</p> <p>NO. 28 「青少年自立支援事業」</p> <p>質問はあるか。</p>
各委員 石本教育長	<p>特になし。</p> <p>NO. 29 「公民館活動推進事業」</p> <p>質問はあるか。</p>
各委員 石本教育長 藤本委員	<p>特になし。</p> <p>NO. 31 「人権尊重のまちづくりの推進」</p> <p>各自治区で取り組んでいるが、私は旭の方に行くが、一般の方の参加がなかなか難しく、中学校と一緒に行く。その時の講師の先生の話される内容は中学校の生徒を対象にした内容になる。そうした時に、一般の方が参加した時には物足りなさを感じたりするので、工夫が欲しいなと思う。人集めは難しいが。今、旭では人権同和教育推進協議会という組織があり、総会の時に講師をお願いして良いお話をいただく。良いお話をいただくのだから、推進協議会のメンバーだけではなく、もう少し広く呼びかけて行ってもらえれば良いなと思う。ここに書き込みは必要ないが。</p>
石本教育長 小田室長 金本委員 石本教育長	<p>他の所ではそういった一般も対象とした開催はないのか。</p> <p>学校からのパターンはあるが。旭だけである。</p> <p>三隅もやっていたが、中学生は別で行っていた。</p> <p>その辺りは検討してほしい。内容についてはよろしいか。</p>

各委員
石本教育長
島田館長
石本教育長
各委員
石本教育長

山本部長
石本教育長
島田館長
石本教育長

各委員
石本教育長

花田委員
石本教育長
宇津委員

石本教育長
宇津委員
石本教育長
山根課長
小林係長
宇津委員
石本教育長
山根課長
石本教育長
滝本室長
石本教育長

特になし。

NO. 34 「子ども読書活動推進計画」

字の訂正がある。内容の2行目、正しくは推進である。

質問はあるか。

特になし。

NO. 35 「読書活動・移動図書館」

評価の4行目、少人数という部分に間違いはないが削除してほしい。

実績の所の購入費2,353万円と数字が挙がっているが。

2,353万円を変えるのは開館して3年位か。

そうである。3年位は2,000万である。

その後は500万位に落ちるので、実績として挙げておいても良いのではないか。

他に質問はあるか。

特になし。

NO. 36 「学校開放事業」

これについては全体的に記述が薄い。

これはスポーツの分野だけか。文化の関係は入っているか。体育だけではなく音楽や調理室等で会合を行っている事も入るのではないか。

これは体育館だけか。

体育館、校庭である。

これを見ると金城自治区の町の規模からして、ふれあいジムがあるからこういった数字になっているのか。実際にはどうなっているのか。

弥栄はないが。

そうである。

金城の1というのはどこの学校か。金城中学校か。

調べる。

1団体だったと思う。雲城小学校か金城中学校のどちらか。

実績だから良いのだが、何かあるのかなと思った。

学校開放を行っていて全然使用されていない学校はあるか。

ないと思う。全て使われている。

金城中学校は使われているのか。

野球で使われている。

では、校庭の方になる。

各委員 石本教育長	他に質問はあるか。 特になし。 NO. 37 「学校支援地域本部事業の推進」 ボランティアの人数がこの事業を始めて増え続けていたが、初めて今回人数が減ったのはなぜか。
山根課長 石本教育長 各委員 石本教育長	学校統合の関係である。 他に質問はあるか。 特になし。 NO. 38 「スポーツ推進事業」 これは競技スポーツという事ではなく、地域におけるスポーツという事でよろしいか。
山根課長 石本教育長	そうである。 NO. 39 「トップアスリートを招いた教室の開催」 内容の所に事業の目的があるが、最後の評価の所に交流することは有意義であると簡潔にまとめるのではなく、効果的な事を付け加えてほしい。
各委員 石本教育長	他に質問はあるか。 特になし。 NO. 40 「スポーツ関係団体への支援」 基本的には体育協会への補助金、各団体への支援が行われている。 各加盟団体への補助の部分で、スポーツ少年団のみの補助金の記載が出ているが、他の競技団体にもそれぞれ出ているのか。
山根課長 石本教育長	一番上が加盟 30 団体の助成である。 883 万円というのは、浜田市から体育協会へ出した補助金の金額ではないのか。
山根課長 石本教育長	そうである。 そうではなく、他の協議団体へ出している補助金は、スポーツ少年団も協議団体の1団体としてカウントしているのではないか。スポーツ少年団のみ挙がっているようになっているが。
山根課長 石本教育長	その部分については整理をする。 4つの区分に分かれていたと思うが。競技団体、地域のスポーツなど。それぞれの括りで良いので、その総括を載せる様にしてほしい。
石本教育長	NO. 41 「運動施設の補修計画」

	<p>この補修計画の中で、今後の運動施設のあり方を検討する必要があるというところまで言及は出来ないか。単なる大規模修繕等が書いてあるが、根本的に野球場、陸上競技場の改修等の長期計画を検討しなければならない時期にきているという意味で、そういった所を進めていかなければならないと評価の所に項目がないといけないのではないか。</p>
藤本委員	<p>陸上競技場は色々な方から意見を言われるが、そういう意見を聞いて委員が発言をするような機会はないか。事務方のみで28年度はどういった対応をしていくかと考える事ももちろん大切ではあるが、それ以外で聞いている事もあるし、またこちらが提案したいという事もある。発言する機会はないか。</p>
石本教育長	<p>教育委員会の会議の中で話をする時間を作って行うことである。</p>
宇津委員	<p>いずれにしても巨額のお金を必要とするが、先の見通しが必要である。物はどんどん古くなる。長期の計画が必要ではないか。</p>
石本教育長	<p>26年度の評価のみだけではなく課題として挙げたりする等。この辺りについては市長も考えておられ、総合教育会議の中で話題になると思う。財源が伴わない話ではあるが、構想は持っておられるようである。</p>
藤本委員	<p>大きな財源を要するものとそうでないものがあると思う。先日、野球の県大会でスコアボードを担当したが、大変だったので話をしようと思っていた。中の老朽化。</p>
石本教育長	<p>それは聞いている。老朽化が進んでいる。スコアボードの階段は上がれない程と聞いている。</p> <p>短期、中期、長期と計画を立てなければならない。</p> <p>他に質問はあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>NO. 42「総合型地域スポーツクラブの設置」</p>
山根課長	<p>弥栄に出来ていないという原因は把握しているか。</p> <p>詳しくは分からないが、進めていく方がおられないということもあり、体育協会自体が衰退しているという現状もあるので。</p>
石本教育長	<p>評価の所で、地域とのつながりとあるが、これを設けた事で地域スポーツが推進された事も書き込んでおいた方が良い。体育協会が本気でやっておられるので良い事も入れ込んでほしい。</p>

山根課長 石本教育長	い。 分かりました。 NO. 43「伝統芸能、伝統文化の継承」 質問はあるか。
各委員 石本教育長	特になし。 NO. 44「芸術・文化活動の活性化」 質問はあるか。
各委員 石本教育長	特になし。 NO. 45「世界こども美術館創作室の活用」 質問はあるか。
各委員 石本教育長	特になし。 NO. 46「優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供」 質問はあるか。
各委員 石本教育長	特になし。 NO. 47「文化財の調査研究」 実績の所で、問い合わせ調査業務とあるが、他に何か言い方はないか。
渡邊課長	電話やメールでこういった事に興味があるので教えて下さいという問い合わせがあるので。分かる事をお答えするのだが。質問というか、歴史に興味があるのだがという事で、市外の方から自分の先祖の事など。
石本教育長	内容は分かるが、これが正しい言い方なら良いが、他に分かりやすい言葉がないかと思う。 他に質問はあるか。
各委員 石本教育長 宇津委員	特になし。 NO. 48「市内遺跡発掘調査事業」 石垣の調査の台帳は、大きく評価すべき内容だと私は思うので、評価の所に入れ込んだ方が良いと思う。
渡邊課長 宇津委員 渡邊課長 石本教育長	これは、浜田城の裏門の所の調査である。 これから積み重なって繋がっていく。 分かりました。評価の所に付け加える。 評価の所で、周知を図っているという事は評価になるのかなと思ったので、評価すべき事を書かなければと思ったので先程言われた石垣の台帳の事を具体的に3行くらい書いてほしい。
渡邊課長 石本教育長	分かりました。 他に質問はあるか。

各委員 石本教育長 花田委員	特になし。 NO. 49 「文化財の保護活用」 記述の仕方について、努めていてどうだったか、拡充に取り組んでどうかという事を。
石本教育長 渡邊課長 石本教育長 各委員 石本教育長	その辺りの記述の仕方を考えてほしい。先程と同様。 分かりました。 他に質問はあるか。 特になし。
渡邊課長 石本教育長	NO. 50 「子どもを対象とした資料館等の活用」 これは郷土資料館の 5 館の事。 子どもを対象としたという事で学校教育が書いてあるが、学校教育以外での活用を考えなければいけない。その辺の取り組みが、実績と評価になる。社会教育の中に入れて対象としたという事が評価になっているので、学校教育だけではない取り組みを付け加えてほしい。
各委員 石本教育長	社会教育の中での取り組みについて、分かりました。 それか、社会教育ではなく、地域におけるという様な形で。 他に質問はあるか。 特になし。
各委員 石本教育長	NO. 51 「浜田城の啓発」 御便殿を今後どの様に活用するかという検討中の部分もあるので、書きづらい部分もあるかもしれない。 質問はあるか。 特になし。
渡邊課長	NO. 52 「浜田市市誌編纂事業」 一番最後の所に、「市誌」とするか「市史」とするかは明確にしていないとあるが、これは大きな問題か。中身が変わると思うが。
石本教育長	歴史のみにするのか、産業等も含めて大きくいくかという意味である。いつか新しいものを作るときに、歴史を中心にするのかどうかという課題という部分もある。
藤本委員	市誌を作るという事で 10 数年、専門の方を雇用して資料の収集、資料の整理をしているので、そろそろ何かを作るという計画を立てないといけない。ただ、何千万円もかかるかもしれない。 今も収集している段階なのか。

石本教育長	収集した物を整理している。
渡邊課長	新しい物が出てくるので、その整理で手一杯である。
石本教育長	古文書をまた読み直したりという作業をしている。
渡邊課長	1件出ると、それに1カ月、2カ月くらいかかる。
藤本委員	旭でもそういった状況だった。それをいつまでも続けてもいけないので、トップの命令でまとめてやろうということになった。いつまで経っても収集をしたり、文章の解説ばかりしても見えてくるものがない。
石本教育長	評価の所に、今後の方針を入れておいてほしい。予算の問題もあるので、今までサマーレビューにも出していないので。今後の事を検討する必要がある。
渡邊課長	分かりました。
石本教育長	全項目終了した。またお気づきの点があれば、事務局へ連絡をいただきたい。
	目標達成度については良いか。
小林係長	これは実績を挙げているだけではあるが、何かご意見がありますか。
石本教育長	全体を通じて意見等あるか。
花田委員	時期としてこの時期しかないのか。
石本教育長	年に一回行い、9月議会に出す。遅い市は12月議会に前年度の実績を出す。本来は、外部の専門的な方に見てもらおうということもステップとしてあるが、なかなかそういった事まで出来ない。教育委員会の自己点検なので職員も含めて委員の皆様に評価をしていただくという形をとっている。
花田委員	今年度も始まっており、昨年度の改善点を今年度出来ているのかどうかを思う。28年度の事を考えながらこれを見ていくのが良いのか。良くしていくにはどこでどうすれば良いのかと考えていた。
石本教育長	確かに今の段階で26年度を振り返っていても次年度に生かされていないかもしれない。事業を行いながら、常に途中で反省をして振り返りながら次の年度に生かしていくという姿勢はずっと持っていないといけない。ただ、まとめとして出てくるのはこの時期になってしまう。
藤本委員	私は早い方だと思う。旧旭町は12月くらいだった。新年度が始まり新たな事業が始まると、なかなか出来なかった。実務的にはそうならざるを得ない。8月は早いと思う。

石本教育長	これは前年度分だが、県の平成 27 年度教育施策という冊子が出るが、これは今年 12 月頃に出ると思う。27 年度が半分くらい終わった段階のところで出てくる。それまでに課ごとには出るが、1 冊にまとめたものは 12 月頃出てくる。
宇津委員	それぞれの課や部で 26 年度の実績を踏まえながら、27 年度をスタートされているので、その部分については間違いないと思う。内部で十分検討をされてスタートされていると思う。
石本教育長	以上で、自己点検・評価の整理を終わる。

(2) 教育委員会学校訪問について (資料 2)

石本教育長	教育委員会の学校訪問について事務局からお願いしたい。
小林係長	この学校訪問は幼稚園の訪問を予定する。時間は 50 分程度で考えている。園内視察とヒアリングという事で、意見交換のテーマとして①～④の過去にも取り上げたテーマを全てではないがいずれかで話を出来ればと考えている。概ねの日程の確認だが、実施期間 9 月下旬からとしているが、9 月末から 10 月頭は運動会を実施するため、それが終了してから行いたいので、10 月 13 日の週か 10 月 19 日の週の午前中で、順調にいけば 2 日間、予備日を取って 3、4 日の可能な日を仮抑えしたいと考えている。
石本教育長	13 日以降という事か。
小林係長	そうである。運動会が終わって一週間位経っていて良いかと思うが。
石本教育長	14 日は浜田市、江津市で学力育成会議がある。19、20、21 日位でどうだろうか。
宇津委員	小体連は 21 日ではないか。
小林係長	19、20、22、23 日位という形で良いか。
石本教育長	22、23 日は中国地区の教育長会議がある。
宇津委員	私は、19、20 日大丈夫である。
小林係長	予備日で 1 日設けたいが。15 日 (木) はどうか。
石本教育長	私は大丈夫である。委員の皆様、予定はどうか。
各委員	大丈夫である。
小林係長	では、この 3 日間で調整をして、決まり次第連絡をする。
石本教育長	10 月 15、19、20 日の 3 日間は仮押さえをしておいてほしい。意見交換のテーマについては決めておいた方が良いか。
小林係長	まだ、時間があるので意見交換したいテーマがあればまた教えていただきたい。

3 部長・次長・課長等報告事項

山本部長

平成 27 年 9 月浜田市議会定例会 提出議題（資料 3）

来週月曜から始まる。提案が 1 件、報告が 1 件ある。旭小学校 4 月開校という事で条例の改正と教育文化振興事業団の経営についての 2 件である。

資料 4 は補正についてである。資料の訂正が 1 件。教育研究指導事務費に訂正をお願いしたい。

石本教育長

本物の資料は直してあるか。

山本部長

直してある。

横田次長

行事等予定表（8 月 25 日～9 月 30 日）（資料 5）

今日の午後の市教研教育講演会については中止である。9 月 10 日の平成 27 年度少年の主張浜田市大会、9 月 25 日（金）の平成 27 年度浜田市中学校駅伝競走大会については委員の皆様にも参加の案内が届くと思うので、よろしくをお願いしたい。また、小中学校の運動会の案内もあると思う。よろしくをお願いしたい。

渡邊課長

① 第 47 回浜田市美術展 一般公募展募集要項（資料 6）

10 月 3 日～10 月 12 日の間、こども美術館で市美展を開催する。今年は、以前から要望があった現代美術の部を新設した。これについては、受付を終了している。その他は例年通りである。受付は 9 月 14 日～9 月 25 日まで文化振興課で行っている。

② 『オペレッタ こうもり』（チラシ）

合併 10 周年記念であり、宝くじの助成を受けている事業であり、入場料 2,000 円という事で、プロの公演にしてはかなり安く観られる。地元出身の方に出演していただく。志田尾さんは浜田の出身である。大田市と浜田市で合併 10 周年記念事業として開催される。

③ 8 月 3 日に東京・日本橋で昨年度受賞したユネスコ無形文化遺産の和紙技術の関係で、文化庁からの認定証の授与式があった。出席がそれぞれの埼玉の細川紙、岐阜の美濃紙、浜田の石州半紙の技術者会の団体、それぞれの市町村が文化庁官から受賞のレプリカをいただいた。これには、各県の県知事、市町村長が皆出席された。会場 300 名くらいの関係者が来場という事で、華やかな会場だった。併せて記念シンポジウムがあり、

吉野分室長(代) 小林係長

増田勝彦先生が和紙の歴史に造詣が深い方で、今後どういう和紙を世界に発信していくかという可能性があるかという講演をされた。これについては浜田市からは、市長、教育長、副議長、産業経済部長、三隅支所の方からも出席され、かなりの人数で出席した。

① 三隅自治区学校人権・同和教育研修会(資料7)

② 碧い石見の芸術祭2015の開催(資料8)

内容については資料をご覧ください。

石本教育長
佐々木課長

資料のないところで報告があるか。

小学校・中学校県大会・全国大会の結果について(報告)

中学校の総体の成績と、全国大会に行かれた3名の方の成績を載せている。小学校陸上大会で優勝した国府小学校の尾崎さん、入賞した美川小学校の山尾さんの成績も載せているのでご覧ください。

石本教育長
宇津委員

報告について質問はあるか。

全国大会で優秀な成績を収めた児童に対して垂れ幕はされるのか。

石本教育長

小学校はしないかもしれない。地域でされる方もおられる。色々な所に行くと、自治会等でされている所もある。浜田の子どもたちが頑張っている。引き続き応援したい。

石本教育長
各委員

報告事項についてその他に質問はあるか。

特になし。

4 その他

(1) 運動会の日程について(資料9)

小林係長

運動会の教育委員会の出席者の調整をさせていただきたい。これについては、定例会が終了した後を予定している。

石本教育長

後程、調整をお願いしたい。

次回定例会日程

定例会 9月29日(火) 13時30分から 中央図書館2階多目的室

12:03 終了